

面接試験の流れ

～入室から退室まで～

面接試験の心得

心得3カ条

- ★面接試験は、入室する瞬間から退室まで
- ★「明るく」「元気よく」
「礼儀正しく」「ハキハキと」
- ★ 声，姿勢，視線，話し方

※ 事前に担当から流れの説明があればその通りに



I 入室

- ① ドアをノック(2回か3回) ※不要なときもある
- ② (入室を促されてから)
ていねいにドアを開ける
- ③ 一礼して入室(入口で立ち止まり)
元気よく「失礼いたします」
- ④ ドアを閉め, 所定の場所へ落ち着いて向かう



Ⅱ 着席

- ① 所定の場所(椅子のななめ後ろ)まで行き一礼
- ② (面接官に勧められてから)
「失礼いたします」 or 黙礼して着席
- ③ 背筋をピンと伸ばす
- ④ 両足をそろえてとじる。
両手を重ねて、ひざから手前に置く。



Ⅲ 面接質疑応答

- ① 面接官の方を向き，視線を合わせる
- ② 面接官の話の時は，あいづちを打つ
- ③ 挙手は，まっすぐ腕を伸ばして真上へ
- ④ 答えは，大きめの声で
ゆっくりハキハキした口調
- ⑤ (集団面接時)他の人の話もしっかり聞く
* 全般に口角を上げ，明るい表情で
(ケースによって真剣な表情)



IV 面接終了

- ① 面接官から終了を告げられてから行動
 - ② 椅子の横にきちんと立つ
 - ③ 感謝の気持ちを込めて
「ありがとうございました」
 - ④ ていねいにお辞儀してからドアに向かう
 - ⑤ ドアを丁寧に閉める
- * 廊下へ出てからも静かに落ち着いた行動

入室から退室まで〈動画〉

動 画

- どのように入室から退室まで進められるのか、動画を視聴しましょう。
- 自分で何度も実際にやってみて、緊張しないで自然に立ち振る舞いができるようになることが大切です。



面接の心得 まとめ

- 特に挨拶は、元気で明るい口調、さわやかに、明朗で、豊かな表情が求められます。
- 面談中は、深く椅子に腰掛け背筋を伸ばして、落ち着いた態度で進めます。緊張して当然です。けじめをつけた言動が大切です。
- 手は膝の上へ、話の内容によっては多少手振り等を入れながら話してもかまいません。



面接の心得 まとめ

- ・ 面接する試験官の多くは経験豊富な教員の方々，教員をめざす皆さんの大先輩であることを考えると，それにふさわしい心構えと態度を示すのが当然です。社会人としての基本的なマナーが求められます。

面接試験の心得

ポイント

「明るく」「元気よく」「礼儀正しく」「はきはきと」
エネルギーあふれるフレッシュな若さを求めています。

「この先生がきたら、学校がとっても明るく、楽しくなるな！」と感じられることです。